

# トピックス

## '75 “共和” 電子計測機器展 盛況!!

——注目の新製品一同に出品——

隔年で開催されている株式会社共和電業の単独展が、東京会場 10月8、9日の両日国電有楽町駅前の東京交通会館で、また大阪会場 10月16、17日日本町の大阪会館で開催された。

本展には共和電業が本年始めより順次発表してきた新製品が出品されて注目を浴びた。計測業界の話題となっている7チャンネルのカセット式データレコーダ RTP-500 型と初期値記憶型のデジタルひずみ測定装置 SD-500 型が展示の中心であった。

RTP-500 型は、カセット式としては初めての7チャンネル（FM6、音声メモ1）の記録再生ができ、さらにテープ速度も3速度と従来のカセット型の概念を大幅に破るもので、データレコーダの新しいタイプとして来場者の目を見張らせた。

また SD-500 型デジタルひずみ測定装置は、携帯型の初期値記憶型として性能、使い勝手、それにデザインも秀れた自信作で同社も力を入れた展示をしていた。同装置の周辺機器としてコードコンバータ、テープパンチャも同時に出品された。デモンストレーションとして実施された連続けた橋の静的荷重試験によるひずみおよび変位測定は、横河ヒューレットパカード社の協力によりパーソナルコンピュータとプロッタを使用してオンラインでひずみ、変位曲線を描き、SD-500 型ひずみ測定装置の偉力を示していた。

このほか新しく開発された 350Ω の箔ポリイミドゲージ、箔火ひずみゲージ、高温用箔ひずみゲージ、無誘導ゲージ、シールドゲ

ジ、低温域での測定に使用する変換器として低温用圧力変換器、土木用ひずみ計、鉄筋計、土圧計など。また多チャンネル化の傾向ある計測に備えての44チャンネルのデータレコーダ RTP-750A、18チャンネル型電磁オシログラフ RMS-200A、33チャンネル電磁オシログラフ RMV-700A などが新しい製品として展示された。

また同社のひずみゲージと測定器の応用例を映画化した「ひずみを測る」および土木計器の現場記録をまとめた「挙動を探る」の2本を上映、好評を博した。

